記者発表資料

平成２８年１１月１５日
秋田河川国道事務所

～　暖房用灯油の取り扱いが増える時期を前に　～

水質汚濁事故（油流出事故 等）に備え、

オイルフェンス設置訓練　を実施します

子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会（構成：国、県、市町村警察本部、各消防本部など）では、下記のとおり水質汚濁事故を想定したオイルフェンス設置訓練を実施します。
この訓練は、毎年、暖房用灯油の取り扱いが増える時期を前に行っているもので、汚濁物質の拡散防止・回収技術の向上を図り、事故発生の際には、構成各機関での情報共有と連携・早期対応により被害軽減に万全を期するものです。

記

１．　日　　時：　**平成２８年１１月２１日（月）**　１３：３０～１５：３０（予定）

場　　所：　**宿河川公園**
（由利本荘市東由利宿地内、国道１０７号沿い）

演習内容：　子吉川沿川で油流出事故が発生したことを想定した演習
（汚濁物質の拡散防止対策工、オイルフェンス設置訓練　ほか）

２．　小雨決行。但し、降雨等により各種災害体制に入るような場合には、中止する場合がありますので、下記までお問い合わせください。

発表記者会：　秋田県政記者会

問い合わせ先

雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会（下流支局）
事務局　国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
ＴＥＬ　０１８－８６４－２２９０

副所長（河川担当）　泉谷（いずみや）　敏広（としひろ）（内線２０４）

河川管理課長　佐藤（さとう）　浩志（こうし）（内線３３１）

＜オイルフェンス設置訓練状況＞





【参　考】

例年、水質事故の主な原因としては、灯油などの流出が約９割を占め、原因別では約４割以上が機器の操作ミスや管理不備などの人為的な単純ミスによるものとなっています。

事例：落雪によるホームタンクのバルブや配管の破損
除雪時の貯油施設の損壊
灯油小分け時の不注意など

平成２４年は、雄物川水系（上下流）で４５件、
子吉川水系で２件の水質汚濁事故が発生しました。

平成２５年は、雄物川水系（上下流）で６８件、
子吉川水系で３件の水質汚濁事故が発生しました。

平成２６年は、雄物川水系（上下流）で４１件、
子吉川水系で６件の水質汚濁事故が発生しました。

平成２７年は、雄物川水系（上下流）で３７件、
子吉川水系で５件の水質汚濁事故が発生しました。

平成２８年（10 月末現在）は、
雄物川水系（上下流）で４５件、
子吉川水系で４件の水質汚濁事故が発生しています。

【訓練会場】
宿河川公園

由利本荘市東由利宿地内
（国道107号沿いです）



